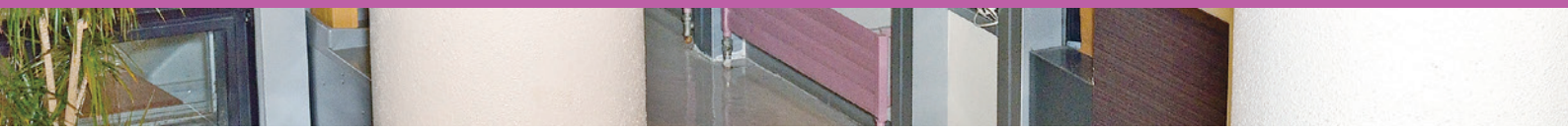


独立行政法人
国立病院機構 北海道がんセンター
都道府県がん診療連携拠点病院

Hokkaido Cancer Center

看護職員募集

平成30年度

素敵な仲間と
プロフェッショナルを
目指そう!

専門的な
がん医療

安全・安心な
医療

研究・教育研修
の推進

私たちは国民の健康のために
良質で信頼される医療の提供に努めます

概　要

標榜診療科　26科

循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、精神科、緩和ケア内科、感染症内科、消化器外科、乳腺外科、腫瘍整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

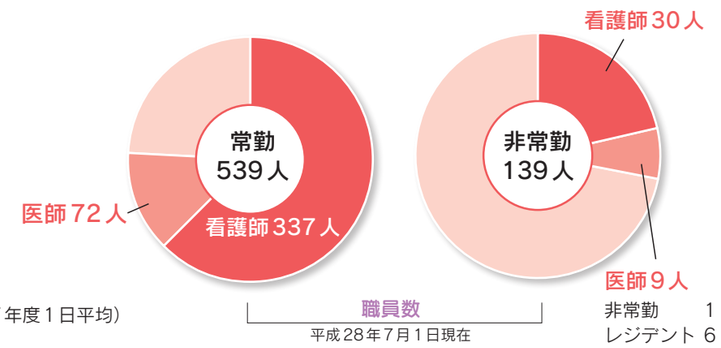
病床数　一般520床

専門病院入院基本料（7対1）室　8単位

外来・手術室　2単位

入院患者数　371.6人（平成27年度1日平均）

外来患者数　599.5人/日（平成27年度実績）



職員数
平成28年7月1日現在

非常勤　1
レジデント　6
臨床研修医　2

院長挨拶

独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター
院長 近藤 啓史

北海道のがん診療の中心的役割を担う病院です

当院は明治時代に開院して以来、良質な医療の提供に努めてきました。昭和43年には北海道知事の要請により北海道地方がんセンターを併設し、平成16年に北海道がんセンターと改称しました。厚生労働省が「国民にレベルの高いがん医療を提供する」ために創設した都道府県がん診療連携拠点病院の指定を平成21年に受け、道内唯一のがん専門病院として「放射線療法」「化学療法」「手術療法」を組み合わせた集学的治療を実践しながら、道内のがん診療の中心的な役割を担っています。

私たちの診療方針は、がん患者が抱える併存症や生活習慣病も診療し支えていこうというものです。院内の診療科を超えた横断的な治療体制を強化するため、平成26年に5つの治療分野のセンターを組織しました。また、新病院建設計画も順調に進んでいます。

医療の特色

北海道がんセンターはがん治療を専門とする病院です。「手術」「放射線治療」「化学療法」などの高度な専門治療を単独もしくは組み合わせながら「がんの克服」を目指します。

■ 手 術

- がんの徹底した切除をめざす拡大手術
- 内視鏡や体腔鏡を用いた手術
- 手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いた先進的手術
- 機能、形態を温存する手術

■ 放射線治療

- 複数のリニアックによるX線や電子線を用いた体外照射
- 放射線源を使用した小線源治療
- IMRT（強度変調放射線治療）やIGRT（画像誘導放射線治療）
- メタストロン注による多発性骨転移の治療

■ 化学療法

- 最新の抗がん剤の積極的導入
- 分子標的治療薬の導入
- 造血幹細胞移植

＋ 都道府県がん診療連携拠点病院

北海道がんセンターは、平成21年に「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されました。「地域がん診療連携拠点病院」「北海道がん診療連携指定病院」などと連携・協力し、「専門的ながん医療の提供」「地域のがん診療連携体制の構築」「情報収集・提供、相談支援の実施」などを指導的立場で行っています。

＋ 明治から続く北海道がんセンターの歴史

明治29年に札幌陸軍病院として開院（約70床）し、昭和20年に国立札幌病院（厚生省に移管）に改称。昭和32年に総合病院（16診療科450床）として、現在地に移転しました。平成16年に「北海道がんセンター」に。平成25年に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、呼吸器、サルコーマ（肉腫）、高度先進内視鏡外科、内視鏡、外来化学療法、前立腺、緩和ケアセンターの7つのセンターを開設しました。

現在26診療科520床で、がん医療に取り組んでいます。

北海道がんセンター 看護部へようこそ！

チーム ナーシング
7対1 看護職配置
病棟 3交替勤務

皆さんの ステップアップ を支援します

当院は都道府県がん診療連携拠点病院として、道内のがん診療の中心的役割を担う病院です。

安全・安心な医療を提供するために、さまざまな職種が協働しチーム医療を実践しています。

また、数年後には新病院が建設され、緩和ケア病棟が開設される予定です。

看護部では、看護の実践者として日々進化するがん医療に対応できる技術力･看護力が身に付く「教育内容と教育体制」を充実させるとともに、サポート体制もしっかり整えています。

皆さんは将来どんな看護師になりたいと思っていますか。看護大学、看護学校卒業予定の方、キャリアアップを目指している方、看護部では「なりたい自分にきっとなれる」を合言葉に皆さんを支援していきます。私たちと一緒に「なりたい自分」を目指しませんか。

看護部理念

患者さんの目線に立った、心のこもった看護を提供します

看護部 基本方針

❶患者さんの権利を尊重し、満足が得られる看護を目指します
❷常に看護の質を追求し、科学的根拠に基づく看護を実践します
❸他職種と協働し、患者さんが安心して療養できる環境を提供します
❹専門職業人としての自覚を持ち、自己の能力開発に努めます

がん医療を充実させる看護力があります

がん看護外来

がんと診断された患者さんの心配事や不安に対して、一緒に考え、専門的な心理的支援を行っています。

看護師が他職種チーム医療を主導

医療技術の進歩に伴い、外来で高度ながん治療が行えるようになったことから、専門性の高い外来看護が求められるようになりました。

当院のがん看護外来には８人の看護師が所属し、医師や他職種と連携を図りながら、個々の患者さんやその家族が「安全・安心・信頼される外来での継続治療」を受けながら、「円滑な社会生活」を送れるよう、症状の改善や自己管理の支援などを積極的に行っています。

専門看護師･認定看護師

- がん看護専門看護師……2人
- 緩和ケア認定看護師……2人
- がん化学療法看護認定看護師……3人
- がん放射線療法看護認定看護師……1人
- がん性疼痛看護認定看護師……1人
- 乳がん看護認定看護師……1人
- 皮膚･排泄ケア認定看護師……2人
- 感染管理認定看護師……2人
- CRC（治験コーディネーター）……3人
- リンパ浮腫セラピスト……4人
- 診療看護師（JNP）……1人

看護のスペシャリストが活躍しています

がん看護専門看護師　菊池 美香

さまざまな問題を抱える がん患者さんとご家族に質の高いケアを

がん看護専門看護師は、さまざまな問題を抱えるがん患者さんとご家族に質の高いケアの提供を目指して看護を実践しています。また、相談、調整、教育、倫理調整、研究といった活動を通して現場のナースを支援しています。

がん化学療法看護認定看護師　高瀬 たまき

「安全」「安楽」「確実に」治療が 受けられるよう努めています

がん化学療法看護認定看護師は患者さんの治療の意思決定支援や、がん化学療法の投与管理、個別的な症状マネジメント、患者教育などの役割があります。「安全」「安楽」「確実に」治療が受けられるよう努めています。

がん放射線療法看護認定看護師　佐々木 あゆみ

患者さんへ放射線の適切な情報提供や ケアの提案を行っています

医師・診療放射線技師と連携を図りながら、患者さんへ放射線の適切な情報提供やケアの提案を行っています。患者さんやご家族が不安を軽減して治療の意思決定ができ、身体的・心理的苦痛が最小限で治療完遂できるよう支援しています。

診療看護師（JNP）　印銀 里絵子

安心･安全･タイムリーな 「care」と「cure」を提供します

診療看護師（Japanese Nurse Practitioner: JNP）は、2025年問題に向けて新たに創設された「careとcure」の両立を目指す新しい看護職です。患者さんに「安心・安全・タイムリーな医療」を提供できるよう、院内各診療科で活動をしています。

新人看護師の1年　こんなことが学べます！

平成30年度 新人教育プログラム

4月
- 新採用者オリエンテーション
- 静脈注射研修レベル1判定（採血･注射･医療機器管理）
- プリセプターとマンツーマン

プリセプターとは…
新人看護師の教育・指導を行う先輩看護師のこと。3～4年目の看護師が担当します。

5月
- 多重課題看護場面トレーニング
- 麻薬の取り扱い

6月
- 技術習得･業務拡大
- 夜勤のシャドーイング
- 抗がん剤の取り扱い
- 静脈注射研修レベル2判定

7月
- リフレッシュ研修
- 血液製剤･ハイリスク薬の取り扱い

8月

9月
- 静脈注射研修レベル3判定

10月
- 救急シミュレーション研修

11月
- KYT（危険予知訓練）

12月
- 慢性期-急性期コース合同研修

1月

2月
- 看護過程研修（事例検討）

3月
- がん看護基礎研修（患者･家族の理解）

看護部教育研修の目的と目標

目 的

理論的な知識を基に、暖かい正確な技術をもち、
患者一人ひとりにあった適切な看護を提供できる看護師を育成する

目 標

1. 科学的根拠に基づいた、安全で安心な看護が実践できる看護師の育成
2. 倫理的側面に配慮し、心のこもった看護ができる看護師の育成
3. 専門職業人としての自覚をもち、主体的に看護ができる看護師の育成

教育担当者からのメッセージ

笑顔と挨拶、感謝の言葉があれば 大抵のことはうまくいきます

患者さんやご家族、そしてたくさんの医療従事者と心を通わせられたとき、看護はとてもやりがいのある仕事となります。

「一日も早く独り立ちしたい」。そんなあなたを個性や進捗に合わせ、焦らず着実にサポートします。私たちはあなたの笑顔と成長、そして社会人デビューを全力で応援します。

看護師のお仕事1日レポート

日勤

8:30 始業

患者さんの情報収集や環境整備

10:00 検温、ケアや処置

採血、点滴、検査の準備、看護

12:00 配膳

経管栄養の準備
食事介助、口腔ケア

13:30 昼休み（1時間交代制）

カンファレンス

検温、ケアや処置

看護

看護記録

看護計画の立案・評価・修正

17:15 退庁

準夜勤

16:30 始業

患者さんの情報収集

18:00 配膳

19:00 検温、ケアや処置
看護、イブニングケア

休憩（交代制）

21:00 消灯
看護記録
各病室の巡回（1時間ごと）

1:15 退庁

深夜勤

0:30 始業

患者さんの情報収集

休憩（交代制）

各病室の巡回（1時間ごと）

6:00 検温、ケアや処置
モーニングケア

7:00 配膳

8:00 看護記録
看護計画の立案・評価・修正

9:15 退庁

教えて！先輩

先輩からたくさんの学びをもらっています

先輩のケアをたくさん学びながら、患者さんや家族との関わりを大切に日々歩んでいます。

太田 茜さん
駒澤看護専門学校卒

大丈夫！一人じゃないから頑張れるよ！

先輩が「大丈夫？　なんでも聞いてね」といつも気にかけてくれたので、頑張ることができました。

今井 美咲さん
国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校卒

患者さんのために……

明るく前向きな患者さんに励まされ、患者さんのために頑張ろう！　と毎日過ごしています。

奥山 秦耶さん
国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校卒

毎日笑顔持参！

長尾 春音さん
国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校卒

笑顔を絶やさないこと、忙しい中でも患者さん一人ひとりの話をしっかり聴くことを大切にしています。

患者さんに元気をもらっています

患者さんの明るい笑顔と前向きな言葉に、いつも元気をもらっています。

永谷 理紗さん
北海道医薬専門学校
看護学科卒

1年目を終えての感想

学ぶ場がたくさんあります

三比 佑真さん
国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校卒

同期と一緒に研修や勉強会に参加したり、先輩から助言を受けながら、日々学びを深めています。

小林 茜里奈さん
日本福祉看護・診療放射線学院
看護学科卒

患者さんと向き合うことが大切です

患者さんに支えられつつも、患者さんと向き合うことを大切にしながら頑張っています。

患者さんとの対話を大切にしています

福田 はづきさん
秋田看護福祉大学 看護学科卒

入院生活を安楽に送れるように患者さんと向き合い、対話することを大切にしています。

高橋 礼子さん
北海道医薬専門学校 看護学科卒

ありがとうと言われる仕事です

患者さんから、「あの時はありがとう」と言われることが、やりがいとなっています。

ジェネラリストを目指しています

段階を踏まえた研修のほかに、がん看護に特化した講義も多く、とても勉強になります。

佐々木 拓郎さん
駒澤看護専門学校卒

2年目以降もキャリアラダーでレベルアップ！

階段を昇るように一歩一歩看護師としての実力が身に付きます

あなたも「がん看護のジェネラリスト」に

北海道がんセンターは、国立病院機構の看護職員能力開発プログラムに沿って、臨床看護実践能力を育成しています。新人からジェネラリストへ、さらにスペシャリストへとリフレクションしながらステップアップしていけるようレベル別に研修が計画されています。

また、「がん看護ジェネラリスト」へと進んでいけるよう、並行して受けられる「がん看護研修ステップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」があります。症状マネジメント・緩和ケア・退院調整・家族支援・意思決定支援・がん治療に関することなどを学び、「ELNEC-J」も開催されています。そのほか、病態生理ミニレクチャーや緩和ケアミニレクチャーを開催し、がん治療のトピックスに対応しています。

レベルⅠ（新人看護師）

- メンバーシップ研修
- 静脈注射研修
- 多重課題
- フィジカルアセスメント
- リフレクション（事例報告）

レベルⅡ

- ナラティブ研修
- リーダーシップⅠ研修
- リフレクション
- 看護研究Ⅰ

レベルⅢ

- リーダーシップⅡ研修
- リフレクション
- 看護研究Ⅱ

レベルⅣ

- キャリアアップ研修

レベルⅤ

- 幹部任用候補者研修

看護管理者へ

看護部長
↑
副看護部長
↑
看護師長・看護教員
↑
副看護師長

スペシャリストへ

- 診療看護師（JNP）
- 治験コーディネーター
- リンパ浮腫セラピスト
- 感染管理認定看護師
- がん看護専門看護師
- 各種認定看護師

役割研修

- エルダー・プリセプター研修
- 教育委員研修

教育研修部研修

- 病態生理ミニレクチャー
- 医療安全管理研修
- 感染管理研修
- BLS

看護研究

- 研究計画書の作り方
- 統計処理と文献検索
- 研究計画書査読
- 倫理審査
- 研究論文作成・査読
- 院内看護研究発表会

がん看護研修

- がん看護基礎研修
- がん看護ステップⅠ・Ⅱ・Ⅲ
- ELNEC-J

トピックス研修

- 緩和ケアミニレクチャー
- 多地点がん看護カンファレンス

看護師は一生チャレンジできるすばらしい仕事です

実習環境づくりが新人教育に生かされています（入職6年目）

学生一人ひとりにとって実りある実習となるよう、臨床指導者として病棟スタッフと連携を取りながら全員でサポートしています。このような体制が新人教育にも生かされています。

奥村 達哉

常に成長する喜びがあります（入職8年目）

学生指導や新人指導などを経験しながら、私自身も日々勉強中です。当院は院内研修も充実していますので、一緒に学んでいきましょう。お待ちしています。

小林 加奈

子育てしながら仕事を続けています（入職15年目）

患者さんの気持ちに寄り添った看護を提供することを常に意識しています。今は子育て支援制度を利用しており、仕事が続けられることに感謝しながら働いています。

古俣 郁子（副看護師長）

専門性を高めることにやりがいを感じます（入職19年目）

がん看護に携わる中で、専門性の習得や、新人やスタッフの教育を通して日々成長し、やりがいを感じます。また、認定看護師・専門看護師育成のためのサポートも魅力です。

浅黄谷 美里（副看護師長）

私たちの職場です！

2F病棟

チームワーク抜群で、昼食の時間も和気あいあいです。

放射線科・頭頸部外科・血液内科・緩和ケア内科・口腔腫瘍外科・歯科口腔外科

4A病棟

手術後の患者さんの回復をお手伝いするのが喜びです。

消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科・ICU

4B病棟

患者さんが入院生活を安心して過ごせるように話し合っています。

呼吸器内科

6B病棟

短期入院の患者さんが多いので忙しいですが、その分達成感があります。

泌尿器科・皮膚科・循環器内科・消化器内科

5A病棟

前向きな患者さんたちに負けないように笑顔で頑張っています。

婦人科

5B病棟

移植や化学療法などの治療が安心して行えるようにお手伝いしています。

血液内科

6A病棟

どんなときも患者さんの気持ちに配慮して看護しています。

消化器内科

7F病棟

新しい治療などに取り組めるように常に学習しています。

乳腺外科・腫瘍整形外科

手術センター

年間2700件の手術に立ち会います。患者さんの一日も早い回復を願っています。

外来部門

一日の平均外来患者数は約600人。各診療科においてスムーズな診療をサポートしています。

施設立面図

外来管理棟	病棟		外来診療棟
	7F	7F病棟	
	6F	6A病棟 6B病棟	
会議室	5F	5A病棟 5B病棟	
臨床研修医室 管理部門 がん患者会活動サロン「ひだまり」 図書室	4F	4A病棟 4B病棟	
管理部門	3F	手術センター 中央材料室 ICU ICU家族待機室	医局 大講堂 研究室 院内がん登録室
血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、形成外科、眼科、緩和ケア内科、感染症内科、頭頸部外科、歯科口腔外科、口腔腫瘍外科、がん看護外来	2F	2F病棟	臨床研究部 臨床検査部門 内視鏡室
消化器／乳腺／呼吸器／骨軟部腫瘍科（腫瘍整形外科）、採血外来治療センター、地域医療連携室、薬局、受付（入院・外来）、会計（入院・外来）、がん相談支援センター、外来予約センター、緩和ケアセンター、理美容室、喫茶コーナー	1F	栄養管理室 栄養指導室 理学療法室 売店	放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、心臓血管外科、画像診断部門、放射線治療部門
食堂	B1	管理部門	管理部門 地域がん登録室

病院見学 随時実施中

お気軽にお問い合わせ、お申し込みください

看護学生を対象としたインターンシップも実施しています

詳しくはホームページまたはEメールで！

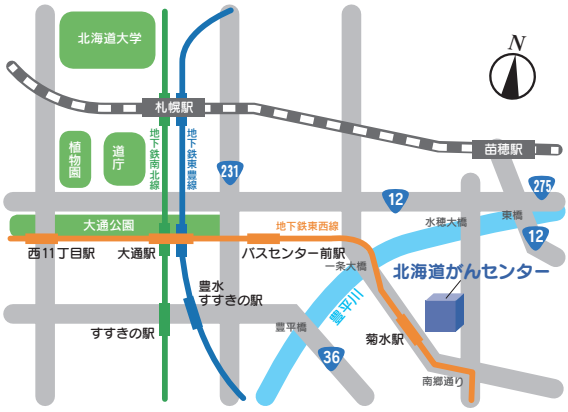
北海道がんセンター Webサイト
スマートフォン・タブレット用へのアクセスはこちらから

E-mail：admnurs2@sap-cc.go.jp
（看護部）

新病院完成予想図（平成28年12月現在）

緩和ケア病棟が開設されます

Access



地下鉄	地下鉄東西線「菊水駅」下車 3番出口から徒歩約3分
バス	JR北海道バス「菊水駅前」バス停から 徒歩約3分
自動車	札樽自動車道「札幌インターチェンジ」から約20分
駐車場	第1・第2駐車場 合計160台程度駐車可

独立行政法人　国立病院機構
北海道がんセンター
Hokkaido Cancer Center

〒003-0804　札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号
TEL **011-811-9111**（代表／看護部：内線204）
E-mail：admnurs2@sap-cc.go.jp（看護部）

http://www.sap-cc.org/